

さいかい

い
しいね！
自然の豊かで
人の温かた



さ
里山に咲く
笑顔！



か
活気あふれて
夢いっぱい！



い
いつまでも
まっすぐ
のびのびと！

か
カブよ！
元気！



人も自然も元気な力強い産業と交流のまち
健康の里 さいかい

スマホで見る
新感覚の
市勢要覧



市章

西海市のイニシャル「S」をモチーフにデザイン化し、「人と自然が元気な力強い産業と交流のまち」をイメージし、未来に向かって発展する市を親しみやすくシンボライズしました。5つの円は合併した「5町」を意味しています。

2015年 西海市市勢要覧 Saikai City Outline

発行：長崎県西海市
発行日：平成27年3月
編集：西海市役所
製作・印刷：(株)昭和堂





西海市市勢要覧 Saikai City Outline

さいかいカ

CONTENTS

「さいかいカ」で里づくり

里づくりの基本方針 02

◎自然・食・歴史の里づくり

自然・歴史のさいかいカ 04

食・産業のさいかいカ 06

◎安全の里づくり

安全・安心のさいかいカ 08

◎健康・子育ての里づくり

健康のさいかいカ 10

子育てのさいかいカ 12

◎企業誘致の実現

企業誘致のさいかいカ 14

西海市合併

10年の歩み 16

—これまで—そしてこれから—

西海市

イメージソング SAIKAI 18

西海市歌・音頭 19

西海“彩”時記 20

西海市内の主な文化財 22

“さいかいカ”マップ 26

市長メッセージ 28

市の観光マスコット Saikai City Tourism Mascots



さいかいタンギーくん
Saikaitangi-kun

ゆで☆大ちゃん
Yudeboshidai-chan

沿革
永禄5年（1562年）、日本最初のキリシタン大名である大村純忠（1533年～1587年）が横瀬浦（西海町）にポルトガルとの貿易港を開港したことから、本市は南蛮貿易やキリスト教とゆかりの深い歴史を持っています。また、江戸時代には大村藩に属しており、大村藩の捕鯨基地としても栄えました。
その後は、炭鉱全盛時代と石油から石油へのエネルギー革命による炭鉱閉山の歴史を持ち、各所に当時の偲はせる炭鉱遺跡が残っています。
町村制が施行された明治22年4月時点では、13村で構成されていましたが、その後の合併、編入、町名変更を経て昭和44年1月に西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の5町構成となり、平成17年4月1日に5町が対等合併し西海市となりました。

History

In 1562, a trade seaport was opened in Yokose-ura (Saikai-cho) by Japan's first Christian daimyo, Sumitada Omura (1533-1587). Due to this historical background, Saikai has longstanding historical ties with trade with Europeans, and with Christianity. In the Edo Period, Saikai became part of the Omura domain and thrived as a whaling port.

Later, the city experienced a period of prosperity from coal mining and the subsequent closing of the mines with transition from coal to petroleum as the principal source of energy. Historical monuments from the coal mining age can be found in various parts of the city.

In April 1889 when incorporation into towns and villages took place, the area consisted of 13 villages, which were later merged, reorganized and renamed. In January 1969, it became consisted of the towns of Seih, Saikai, Oshima, Sakito and Oseto. On April 1, 2005, the 5 towns were equally merged to form Saikai City.

位置・地勢

本市は西彼杵半島の北部にあり、県内の2大都市である長崎市と佐世保市の中間に位置しています。また、東岸は大村湾に、西岸は外海の五島灘、角力灘に面しており、前ノ島、竹島、江島、平島、松島といった架橋で結ばれていない5つの有人島を有しています。

総面積は241.95km²(平成21年4月1日現在)で長崎県全体(4,104.90km²)の5.9%を占めています。民有地の地目別面積の割合を見ると、山林が45.7%で最も多く、以下、田畑36.1%、原野9.5%、宅地5.0%、その他(池沼含む)3.7%の順となっています。

本地域は、リアス式海岸などの複雑な地形を持った海岸線や、点在する大小さまざまな島、丘陵起伏が続く地形といった美しく優れた自然景観を有しており、西海国立公園、大村湾国立公園、西彼杵半島国立公園の3つの自然公園に指定されています。



Geographical location and features

The city is located in the northern part of Nishisonogi Peninsula, roughly midway between the two large cities in the Prefecture, Nagasaki and Sasebo. Also, the city faces Omura Bay to its east and Goto-nada Sea and Sumo-nada Sea to the west, as well as five inhabited islands of Maenoshima, Takeshima, Enoshima, Hirashima and Matsushima that are linked with bridges.

The total land area is 241.95 km² (as of April 1, 2009), which accounts for 5.9% of the total for Nagasaki Prefecture (4,104.90 km²). In the breakdown of the types of land in private ownership, the largest majority of 45.7% consists of forest mountains. This is followed by farmlands (36.1%), grassy fields (9.5%), residential land (5.0%) and others, including wetlands (3.7%).

The area boasts scenic beauty created by ria-type geological formation that creates a complex coastline, islands of various sizes studded across the sea and hilly terrain. Because of the beauty, it has three nature parks, namely, Saikai National Park, Omura Bay Prefectural Park and Nishisonogi Peninsula Prefectural Park.



将来像

つながる ひろがる 未来へつづく 健康の里さいかい

人と自然が元気な 力強い産業と交流のまち

西海市には、豊かな自然をはじめ、先人たちが築き上げた歴史や文化、地場産業などの貴重な財産が豊富に存在しています。そして何より、豊かな個性と思いやりに満ちた市民の皆さんが暮らしています。

西海市は、豊かな自然環境と温かい人情に包まれた故里の素晴らしさをいつまでも大切にしながら、豊かな心を育み愛着と誇りを持ち安心して快適に暮らし、いつまでも働くことができる元気な産業が発展するまちづくりを「里づくり」と位置づけ、将来像を「健康の里さいかい」とします。

この将来像を目指すため、市民の一体感の醸成を図るとともに、「市民力」「さいかい力」を結集し、さいかい力の更なる発展によって市民協働のまちづくりに取り組んでいます。



豊かな自然環境と温かい人情に包まれた故里の素晴らしさを大切に
にし、豊かな心を育み愛着と誇りを持ち安心して快適に暮らし、
いつまでも働くことができる元気な産業が発展するまちづくり

重要なことは、5つのまちの歴史、自然、産業などを活かした一体的な発展を目指すということ。5つのまちの人やモノなどのあらゆる地域資源の連携(つながり)を強化し、相乗効果による新しい力を生み出していくことで、夢と希望に満ちた里づくりを推進します。

実現のために

基本目標

暮らす

地域資源を活かした
住みたくなる
里づくり



働く

いつまでも働ける
元気な産業が
息づく里づくり



学ぶ

生きがいと未来を
創造する教育の
里づくり



安心する

安心して産み育て
豊かに暮らせる
里づくり



A City of Vigorous Industries and Active Communication between People, Where People can Live Happy Lives Surrounded by Abundant Nature

Saikai City is blessed with valuable assets ranging from the abundant nature surrounding the city, and a history and culture built by our ancestors, to vigorous local industries. However, the greatest asset of the city is people with wonderful personalities and kindness.

Saikai City is striving to achieve its "Hometown Building" project to build a "City of Healthy People." While preserving the wonderful traditions of our hometown created by an abundant natural environment and warm and kind people, we are determined to build a city where people can nurture a rich spirit, feel love and pride for where they live, and live comfortably without worries. We are also striving to develop vigorous industries so that people in this city can continue working as long as they wish.

To achieve this goal, we are striving to nurture a sense of unity among the residents to gather the joint strength of the people in the city. We consider "the strength of the residents" is "the strength of Saikai City." We are determined to further nurture this strength of Sakai City to develop a city with the cooperation of its residents.

「健康の里さいかい」は、「人」「自然」「産業」の健康が実感できる里づくりを目指します。

健康な人の姿

- いくつになっても生きがいと誇りを持つ
- 安心感に包まれながら生き生きと暮らす
- 豊かな想像力と思いやりの心を持つ
- 希望と夢を抱きながら未来へ羽ばたく

健康な自然の姿

- 自然本来が持つ生態系があらゆるところで息づく
- 新鮮な空気や新鮮な農水産品など自然の恵みを享受体感できる

健康な産業の姿

- 自然と共生できる
- 高度技術が効果的に活用される
- あらゆる年代層の市民が誇りをもっていつまでも働くことが出来る

重点プロジェクトとは、将来像である「健康の里さいかい」を市民の皆さんと一緒に実現していくために、今後、優先的かつ重点的に取り組んでいく事業として、基本構想に掲げたものです。現在の市民ニーズや社会情勢を踏まえたより戦略的で具体的な事業として実施を図るものと位置づけられます。

基本構想で定めた重点プロジェクト

1. 産業基盤強化プロジェクト

(地場産業の活性化と雇用づくり)

2. 体験型観光・交流促進プロジェクト

(自然環境の保全と体験型観光・スポーツ等の振興による交流人口の拡大)

3. いきいき健康・子育て支援プロジェクト

(安心して産み育て、豊かに暮らせる環境づくり)

4. お出かけ支援プロジェクト

(身近で利便性の高い交通体系の構築)

5. 地域情報化プロジェクト

(双方向型の情報通信体制づくり)

6. 里づくり支援プロジェクト

(市民参画型の里づくりの推進)

多様化する市民ニーズや時代潮流への対応

重点プロジェクトの基本方針を踏まえた「4つのテーマ」

自然・食・歴史の里づくり

(西海里山イニシアティブの推進)

西海市の特徴ある地域資源の保全や活用により、地域の活力を創造する



安全の里づくり

自然災害や日常生活における身近な危険から生命と財産を守る



[共通キーワード] 地域コミュニティの活性化・ICTを活かしたまちづくり

健康・子育ての里づくり

元気で長生きでき、健やかな子育てができるまちをつくる



企業誘致の実現

地域経済の活力を生み出す企業誘致を進める



しりくさり
尻久砂里海浜公園

美しさのあまり、お尻が腐るくらいいつまでも眺めて
いたいということから名付けられました。



西海市は周りを五島灘や大村湾に囲まれ、自然体験プログラムが豊富にあり、春休みや夏休みはアウトドアレジャーを楽しむ人たちが多く訪れます。

ダム湖の「伊佐ノ浦公園」、うず潮名物の「西海橋公園」、大村湾と隣接した「四本堂公園」などがあります。また、夏はエメラルドグリーンの遠浅の砂浜が広がる「尻久砂里海浜公園」や「柳の浜海水浴場」「崎戸海浜公園」が人気です。

また、長崎県が中心となって進めている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録の動きもあり、あらためて南蛮船来航の地・横瀬浦や、ジュリアン出生の地・中浦地区などにも注目が集まっています。



美しい
湖畔が広がる
ダム湖。

伊佐ノ浦公園

コテージやバンガローもある県内有数のアウトドアスポット。



中浦ジュリアン記念公園

ジュリアンの出生の地・中浦に整備された公園。
資料展示室には色彩壁画でジュリアンの生涯が描かれている。



自然・歴史

山と海が隣り合わせという自然環境の良さから
アウトドアレジャーのまちとしても人気が高く、
さらに南蛮文化伝来の地として歴史にも登場。

自然が創りだした鍾乳洞
南蛮文化・キリスト教伝来の地

七ツ釜鍾乳洞

国指定天然記念物の鍾乳洞。約3000万年前という新しい地層の石灰質砂岩に発達したもの。日本では希少価値が高く、洞穴は平均気温15℃前後を保ち、自然が作りだすアドベンチャーな雰囲気味わえます。

Nature and history

Limestone cavern created by nature

Namban culture in the town where Christianity
was first introduced to Japan

Being close to both the mountains and the sea, Saikai City is a favorite destination for outdoor leisure tourists. Saikai is also well-known as a historical town where Namban Culture was first introduced to Japan.

歴史に「もしも」があれば、ここが長崎…。

さるくガイドによるガイドが
歴史のロマンを感じさせてくれます

その昔、捕鯨で栄えていた長崎県西彼杵半島。半島の北端にある西海市横瀬浦は、かつて平戸を追われたポルトガル人の貿易船のために開かれた港でした。しかしこの港は、焼き討ちによって2年足らずでその歴史を終え、それが1571年の長崎開港へとつながります。今でも、往時をしのぼせる天主堂跡、大村館跡、南蛮船来航の記念碑などの史跡が点在しています。



南蛮船来航の碑



横瀬港



四本堂公園

海・山の自然を利用した海浜運動公園。石積みの展望台からは大村湾を一望できるほか、オートキャンプ場も完備しています。



崎戸歴史民俗資料館



音浴博物館

さらに、社会のデジタル化が進むなか、アナログレコードを聴きながら、時を忘れ、音楽を心とからだで全身で感じることものできる施設「音浴博物館」には、全国各地からファンが集まり、年々来場者が増え続けています。西彼杵半島の静かな森の奥深くに位置し、約16万枚のレコードや、100年以上前の手回しの蓄音機など、音にまつわる膨大な収蔵品は懐かしさと共に、当時の記憶を呼び戻させてくれます。レコードと旧式のスピーカーから流れる味わい深いアナログの音楽を聴いて、思わず涙する人も多く、忙しく毎日を送る人たちの癒しのスポットとしても注目されています。

館長代行の高島正和さんは「めまぐるしく変化する社会のなか、この施設は時間がゆっくり流れる感覚になれる場所です。昭和を知る世代には懐かしく、若い人たちには新鮮に映るのかもしれない」と話す。

あの頃がよみがえる

懐かしの音楽を大音量でぜひ



山海の恵みが満載！



食・産業

土壌と漁場に恵まれた西海市の山海の幸
郷土料理から西海ブランドまで逸品揃い
全国各地で評価の高い「メイドイン西海」



五島灘、大村湾と海に囲まれた西海市では水産業が盛んです。沿岸漁業が中心で、アジ、イサキ、イセエビ、クエ、ブリ、カサゴ、アワビ、ウニなど1年を通してさまざまな魚種が水揚げされます。中でも近年、ブランド化を進めているのが「シマフグ」。天然トラフグに混じって漁獲され、味はトラフグに引けをとらないと評判の逸品。西海市の新ブランドとして注目されています。

また、農業では、特産品でもある「ゆで干し大根」を筆頭に、ばれいしよやアスパラガス、ブロッコリーは長崎県内有数の産地として、九州や関西地方を中心に出荷しています。

さらに西海市は柑橘の里としても知られ、早生を中心とした温州ミカンや中晩柑など種類も

Food and industries

The city blessed with delicious foods from both the land and the sea!
We are promoting "Saikai Brand" foods all over Japan!

Blessed with fertile farmland and rich fishing grounds, Saikai produces a wide range of agricultural and fishery products. Our delicious local cuisine and "Saikai Brand" agricultural and fishery products have been highly acclaimed all over the country.

多く栽培され、収穫期には贈答用としても全国発送されています。

各地域のグループや女性部が作る加工品なども、地元産の素材を活かした商品が多く、サツマイモを原料にした焼酎をはじめ、手作り味噌、ミネラル豊富な海水から作る塩などもあります。

現在、西海市では「メイドイン西海」をPRすべく、全国に向けてさまざまな発信活動にも取り組んでいます。自然豊かで、まだまだ魅力的な未開発の逸材が隠されているまち、それが西海市です。



西海ブランドを全国へ発信!



ゆで干し大根

断崖絶壁の干場で寒風にさらす西海市の特産品



マダコの水揚量は
長崎県内有数!



糸ベす蛸

大瀬戸町漁協で加工したボイルタコです。



ばれいしょ

全国二位の生産量を誇るばれいしょ



みかん

種類豊富な柑橘類は西海名産



西海ポーク

市場でも評価が高い良質な豚肉

**まだある
メイドイン西海市
の恵み**

糖度が高い甘い「大島トマト」や、各家庭でも手作りする「かんころ餅」のほか、ピワ、真珠、うず潮カキなど、山の幸や海の幸がまだまだ豊富に揃っています。



イチゴ

イチゴ狩りなど生産量も豊富



イセエビ

9月には「伊勢海老祭り」も開催



焼酎

地元素材を使った大島酒造の焼酎



カサゴ

近海で穫れ、刺身やみそ汁が人気



アスパラガス

太く柔らかい食感の西海アスパラ



酢

昔ながらの製法で手作りする酢



手作り味噌

各地区の婦人部が手作りする味噌



シマフグ

トラフグに劣らぬ味わいながらリーズナブル

西海市の
新しい特産品
として注目!



塩

西海市沖の海水から作られる塩



江島しょう油

離島・江島で手作りする幻の醤油



消防団の出初式の行進(写真右)と操法大会の様子
訓練の成果を発表する消防ポンプ操法大会の様子

西海市では「西海市安全・安心まちづくり推進条例」を策定し、市民自らが安全安心なまちづくりに取り組んでいます。

もともと地域のつながりが強い土地柄で、現在もさまざまな見守り活動や防犯活動に取り組んでいます。小学生や中学生の通学路の安全を見守る「通学路見守り隊」などは校区内の住民たちが通学児童生徒を見守っています。

また、青色パトロール巡回活動では、市内7地域で17車両が日々巡回パトロールを行い、犯罪が起らないまちづくりに貢献しています。「犯罪なく3ば運動」推進モデル地区なども推進し、近年社会問題化している振り込め詐欺を事前に防ぐための活動も行っています。

西海市の各地域では「自分たちが住むまち自分たちの手で守る」という高い意識もあって「消防団」活動も盛んに行われています。新春の出初式をはじめ、毎月2回の機械器具点検、防火防災の啓発活動、防火予防の夜間警戒パトロールなど、住民たち自らが積極的にさまざまな活動に取り組んでいます。

さらに、万一の時に住民避難を援助する「自主防災組織」の取り組みが地域に広がっています。2013年に組織を結成した川内公民館地域では、



子どもや高齢者を地域で見守る 昔から伝わる助け合いの心は西海市の宝



次世代につなげる 安全・安心の 西海市の取り組み





消費生活犯罪防止啓発運動

振り込め詐欺などに注意するよう呼びかけるパレード



民間交番、西海安全パトロール隊本部 開所式



通学路見守り隊

通学時の小中学生を見守っています

定期的な会合を開き、緊急時の対応や運営の方法、住民への広報活動を行っています。

市内各地で活動する防犯・防災・防火団体は、行政との連携はもちろん、警察や駐在所などとも連絡を密にし、情報を共有して緊急時の体制づくりを整えています。特殊詐欺など犯罪も多様化し、対応の難しさの問題になっていますが、地域一体となった取り組みで未然に防ぐ、それが西海市です。

青色パトロール運動

登録した車両に青色灯をつけて地域を巡回します。



Safety and Security

Saikai City's commitment to building a safe and secure city for future generations

It has been our tradition to keep an eye on children and elderly people in the neighborhood. We are proud that people with this spirit of mutual aid are the greatest asset of our city.

家族の絆で特殊詐欺を撲滅! 県内総ぐるみの「犯罪なく3ば運動」

平成27年度までに全国一犯罪率の低い安全・安心な長崎県を目指し、社会全体の防犯意識向上のために始められた県民総ぐるみの防犯運動。

1. カギかけんば運動=乗り物や住宅などに必ず鍵をかけるなどを意識することで防犯意識を高める目的。
2. ひと声かけんば運動=子どもへの挨拶、高齢者への声かけをすることで地域における絆を深め、規範意識の向上を目的。
3. 見守りせんば運動=犯罪が起きにくい地域づくりを目指し、警察、自治体、防犯協議会、ボランティアが連携して防犯パトロールや子どもの見守り活動を推進して犯罪が起きにくい地域をつくる目的。



健康でいきがいのある街づくり

元気を発信する西海市



健康

元気づくりを後押しする自然公園が充実している西海市。ありのままの姿を活かした自然公園をはじめ、幅広い世代が参加できるイベントなどで健康づくりをサポートしています。

近年、市民の健康への意識の高まりから、西海市でもロードレースやウォーキングイベントを通して、生涯スポーツや健康づくりのお手伝いをしています。

若年層のスポーツへのサポートだけでなく、まち歩きや歴史散歩、自然散策など、年齢に関係なく、なたでも楽しめる四季のイベントやスポーツをさまざまな媒体を通して紹介しています。

もともと西海市にはウォーキングを気軽に楽しめる散策スポットが多く、自然の中を歩くトレッキングなどは盛んに行われています。なかでも代表的なイベントが「さいかいシティウォーク」。2015年には10回目を迎え、毎年幅広い年齢層の方が西海市を訪れ、西海市の魅力を体感しています。毎年コースが変わることからリピーターも多く、近年の健康づくりの高まりもあつて参加者も年々増えています。



グラウンドゴルフ

場所を選ばず気軽にできるグラウンドゴルフは各地で盛んに行われているシニアスポーツ



セツ釜ロードレース大会

小学生から大人まで毎年たくさんの市民が参加して行われる。



伊佐ノ浦公園

宿泊や自然体験交流施設だけでなく、サイクリングコースやオートキャンプ場も備えた充実の自然公園



大島パークゴルフ



Health

Building a city where people can live healthily and happily:
Saikai City, the city making people happy

Saikai City boasts nature parks that help people to lead healthy lifestyles. The natural landscape is preserved in these nature parks. The city supports its residents enhancing their fitness by holding various fitness events in the parks in which people from a wide range of generations can join.



市民みんなで取り組む 「第二次健康さいかい21」

西海市では平成25年度から34年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動」に基づき平成25年3月に第二次健康さいかい21を策定しました。キーワードは5つ。

- ① 健康寿命の延伸と地域格差の縮小
- ② 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- ③ 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- ④ 健康を支え、守るための社会環境の整備
- ⑤ 栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙、休養及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

また、七ツ釜鍾乳洞二帯で開催される「七ツ釜ロードレース大会」は、本格的なランナーも大勢参加するビッグイベントです。小中高、一般男女にコースを分け、冬の西海市を駆け抜けます。

ほかにも、「伊佐ノ浦公園」では、吊り橋や山道の散策ウォークはもちろん、湖畔を眺めながら安全に楽しめるサイクリングコースも完備。レンタルサイクルもあり、週末などは家族連れで楽しむ姿も見られます。

大正から昭和初期にかけて炭鉱で栄えた松島の桜並木は、約200本のソメイヨシノが桜のトンネルを作ります。島内には松島炭鉱の名残も多く、当時に思いをはせながらの歴史散策も楽しめます。

子どもからシニアまで、さまざまな世代が健康づくりを楽しみながら過ごせるまち、それが西海市です。

松島の桜坂

毎年桜の季節には多くの人が散策に訪れます



西海橋公園

西海橋の両側に整備された桜の名所。うず潮を一望しながらのウォーキングスポットとしても最適



さきと33°元気ランド

炭坑跡地を利用した芝生公園。おもしろ自転車などもあり、広大な敷地でのびのびと楽しめます



Child-raising

Many newly-married couples choose Saikai City as the place for their new lives. The city is actively supporting mothers and fathers who are raising their children in their new hometown. We encourage parents to meet other parents and deepen their friendship.

子ども、家族、仕事…

子育て ママトク



支援センターのおかげで
おでかけが楽しみに!!

結婚を機に西海市で暮らし始める夫婦も多い。

西海市では慣れない土地で子育てを始めるパパママたちをサポート。
子どもを通した新しい出会いが親同士の絆を深めます

子育ての同じ悩みを
言い合えるのが嬉しい

ほかにもさまざまな世代や環境に合わせた子育て支援を行っています。妊娠期から始まり、出産期、乳幼児期、学童期、高校・大学の奨学金制度、ひとり親家庭支援など、西海市での子育てを全世代的に渡ってサポートしています。

地域のつながりも深く、地域住民たちの

さらに西海市では経済面の支援策として、2人目以降の幼稚園・保育園料を全額市が負担しています(西海市子育てあんしん応援事業)。

また、0〜5歳までの未就園児の両親が通える子育て支援事業も市内各地の幼稚園や保育園、支援センターで行っています。支援センターを利用するお母さんたちからは「同じ子育て中のママばかりで話しやすい」「先生もいるので相談しやすい」「悩みを聞いてもらって子育てを楽しめるようになった」など、お母さんたちから高い評価をいただいています。

西海市では、子育て家族を応援する制度や交流事業を通して、子育てしやすい街づくりを進めています。お母さんたちが出産後も安心して働けるように、市内には市立・私立の保育園が19カ所、学童期の子どもたちが放課後の時間帯を過ごす学童クラブが13カ所と利用者のニーズに応えています。

西海市を代表する企業「大島造船所」がある大島町には、造船業に従事する若い社員とその家族が多く、子育て中のお母さんたちがたくさんいます。なかには結婚を機に西海市で新生活を始める夫婦も多くいます。



子育てママたちの支援プログラム
「ノーバディーズパーフェクト」
 《西海市こども課の取り組み》



保育所・保育園
 《市内全19カ所》
 ※待機児童ゼロ



ママたちの子育てをサポートするプログラム。
 「完備な親はいない」をテーマに西海市での子育てをサポートしています



学童クラブ
 《市内全13カ所》

「**知っ得!**」

「子育て」

Q&A

Q 2人目以降の子育てサポートは？

A 西海市に住民登録されている方で、幼稚園または保育所に同時に2人目以上の幼児を就園させている場合、2人目以降の幼児に関する保護者の皆様の経済的負担を軽減する制度があります。実質2人以降は無料になります。また、就学前までの子どもの医療費にも支援制度があります。一番経済的な負担が大きい幼児期に、西海市民あげて、未来を背負う子どもたちをサポートしています。

Q 子育てママをサポートする取り組みとは？

A 西海市で暮らす子育てママたちへの支援活動「ノーバディーズパーフェクト(PT)」を行っています。月に2~3回(全10回のプログラム)、ママたち集まってもらい、専門家を交えて子育てにまつわるさまざまな研修や話し合いを行います。専門家が「教える」というのではなく、参加者が楽しく、安心して育児について学べる場です。「初めから完備な親はいない、みんな、周りの方の助けを得ながら親になっていく」というテーマをもとに0歳~5歳までの子どもを持つ親のためのサポートプログラムです。開催日には、無料で託児もを行っています。PTを受けたママたちからは「初めての育児、初めての土地で不安も多かったけど、同じママたちとの会話を通して、自分に自信ができました」「ママ友が増えて、情報交換ができるようになった」など、参加して良かったという声をたくさんいただいています。

温かい見守りの環境も、子育て家庭の安心にもつながっています。子育て支援策では行政が中心となり、地域では住民たち自ら子どもたちを見守る環境をつくっていく、それが西海市です。

まだまだある「西海市」の子育てサポート

- 離島地域安心出産事業
 - ショートステイ事業
 - トワイライトステイ事業
 - ひとり親家庭等日常生活支援事業
 - ひとり親家庭生活支援事業
 - 子育て支援の情報
 - 一時預かり事業
 - 休日保育
- ※ 西海市保健福祉部 こども課 子育て支援班 電話0959-37-0029

パールテクノ西海

平成27年度から分譲を開始する工業団地。4区画で企業誘致を進めている。西海市を縦断する国道206号線から約5分という好アクセス。



「人と自然が元気な力強い産業と交流のまち、健康の里さいかい」を目指す西海市では市民協働のまちづくりに取り組んでいます。

なかでも力強い産業を目指した企業誘致やオランダ村利活用事業に積極的に取り組んでいます。2010年11月に企業立地協定を結び、11年10月から出荷を始めた「ミスズライフ西海工場」は長野県から誘致したブナシメジ工場です。現在は販売ルートを西日本全域に拡大し、最先端の生産技術を用いた効率の良い稼働で市場からの評価も高く西海市の逸品となりました。

また、西海市南東の風早地区には豊かな自然環境の工業団地「パールテクノ西海」



旧長崎オランダ村利活用事業

一部を一般公開し、カキ祭りなどの会場として利用されています。再生を求める声は市内外から多く寄せられています。



企業誘致

自然豊かで災害が少ない西海市は、永続的な企業運営に適したところ。工業団地「パールテクノ西海」ではインフラも整備が完了し、長崎県や西海市の優遇処置は企業のスタートを後押しします。

働く人たちの暮らしを全面サポート
災害が少なくインフラ整備も続々！

Attraction of enterprises

The City fully supports the lives of workers. Very few natural disasters occur in Saiikai, and many new social infrastructure construction projects are currently underway.

Since Saiikai City is blessed with abundant nature and very few natural disasters occur in this region, it is a suitable location for a permanent place of business. The construction of social infrastructure for an industrial estate "Pearl-techno Saiikai" is now complete. Start-up companies can receive preferential treatment from both Nagasaki Prefecture and Saiikai City.